

平成15年1月度 大丸営業報告

1. 1月度営業概況

- ・ 中旬まではクリアランスセールが盛況であったことなどから対前年プラスで推移したものの、後半は降雪などの天候不順が大きく影響し、直営9店舗の売上高は、対前年 1.3%となった。
- ・ 前年と同じ1月2日からスタートしたクリアランスセールは、婦人服・紳士服のヤング向けのブランドを中心に賑わい、主要5店の売上高は対前年約5%増となった。
- ・ 婦人服は、ミセスはコート、ジャケットなどの重衣料の動きが鈍く苦戦したものの、ヤングはクリアランスが好調に推移したことにより数字を伸ばし、全体で前年プラスとなった。
- ・ 身のまわり品は、アクセサリは好調であったものの、婦人靴の不振が響き前年を下回った。
- ・ 紳士服・洋品では、ヤング向け衣料やワイシャツ・ネクタイなどの洋品類の動きは良かったものの、ビジネスウエアが振るわず、対前年微減となった。
- ・ 食品は、保存食品や惣菜は苦戦したものの、前年1月に発生した食肉の偽装表示事件の反動などから生鮮三品が大きく売上を伸ばしたことにより、対前年プラスとなった。
- ・ 主要5店舗のうち、前年を上回った店舗は東京店だけとなったが、その他の店舗もマイナス幅はいずれも小さく、前月よりも大きく改善した。

2. 1月度店舗別売上高対前年増減率(%)

店舗・地区	店舗売上			合計売上高	入店客数	営業日数 増減
	現金	掛	計			
心斎橋店	2.0	1.8	1.2	1.2	6.0	±0日
梅田店	1.5	9.3	1.9	1.9	4.4	±0日
大阪地区計			1.6	1.6		
東京店	3.0	3.5	2.5	2.5	0.7	±0日
京都店	0.1	0.1	0.1	0.1	3.7	±0日
山科店	0.8	2.5	0.8	0.8		±0日
京都地区計	0.0	0.1	0.0	0.0		
神戸店	2.6	1.6	2.1	2.1	4.3	±0日
新長田店	11.2	19.7	11.4	11.4		±0日
須磨店	5.9	4.7	5.8	5.8		±0日
芦屋店	6.6	3.0	6.2	6.2		±0日
神戸地区計	3.8	0.9	3.3	3.3		
全社合計	1.5	0.3	1.3	1.3	3.7	

前年と比較して土曜日・日曜・祝日は同日数

入店客数の計は基幹5店舗計

3. 下期累計（14年9月～15年1月）店舗別売上高対前年増減率（％）

店舗・地区	店舗売上			合計売上高	入店客数	営業日数 増減
	現金	掛	計			
心齋橋店	1.8	5.2	2.9	2.7	5.0	±0日
梅田店	4.7	7.9	5.0	5.0	4.5	±0日
大阪地区計			3.8	3.7		
東京店	1.7	1.1	1.7	1.7	1.0	±0日
京都店	1.9	2.6	2.1	2.1	2.9	±0日
山科店	0.6	8.6	0.4	0.4		±0日
京都地区計	1.8	2.6	2.0	2.0		
神戸店	1.9	1.7	1.8	1.8	1.1	±0日
新長田店	10.0	4.7	9.9	9.9		±0日
須磨店	44.0	45.9	44.0	44.0		+91日
芦屋店	40.6	48.0	41.4	41.4		+91日
神戸地区計	3.4	1.0	3.0	3.0		
全社合計	0.4	2.4	0.8	0.7		
既存7店舗計	2.1	3.1	2.4	2.3	2.5	

前年と比較して土曜日・日曜日・祝日は同日数

入店客数の計は基幹5店舗計

4. 1月度商品群別全社売上対前年増減率（％）

商品群	1月度	下期累計（9月～1月）	
	9店計	9店計	既存7店計
紳士服・洋品	0.5	0.9	1.9
婦人服・洋品	1.6	1.5	0.2
子供服・洋品	1.1	4.7	2.6
その他の衣料品	2.1	1.2	1.2
衣料品計	1.2	1.0	0.5
身の回り品	7.6	8.0	8.0
家具	9.3	19.2	19.2
家電	17.3	4.8	4.8
その他の家庭用品	7.8	4.8	6.8
家庭用品計	6.9	8.3	9.8
食料品	0.1	2.6	1.0
食堂・喫茶	8.3	3.9	5.9
雑貨	5.4	3.2	2.1
サービス	29.0	21.4	3.3
その他	1.0	15.0	15.7
合計	1.3	0.7	2.3

ー昨年11月のダイマル2店（須磨店、芦屋店）の大丸への統合から1巡したため、既存7店の単年度の売上は記載しておりません。

お問い合わせ先

株式会社大丸 本社広報室

TEL (06) 6281-9002

FAX (06) 6245-1343

以上